

第 117 回日商簿記 3 級 第 1 問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	現	金	過	不	足	当	座	預	金	受	取	手	形				
売	掛	金	従	業	員	立	替	金	貸	付	金	仮	払	金				
支	払	手	形	買	掛	金	貸	倒	引	当	金	所	得	税	預	り	金	
未	払	金	借	入	金	仮	受	金	引	出	金	償	却	債	権	取	立	益
売	上	雑	益	貸	倒	引	当	金	戻	入	償	却	債	権	取	立	益	
仕	入	貸	倒	引	当	金	繰	入	貸	倒	損	失	給	料				
租	税	公	課	水	道	光	熱	費	旅	費	交	通	費	雑	損			

1. 決算に当たり、現金の手許有高を調べたところ、帳簿残高は ¥ 300,000 であるのに対して、実際有高は ¥ 280,000 であった。この現金過不足額のうち ¥ 8,000 は、従業員個人が負担すべき交通費を店の現金で肩代わりして支払った取引が未記帳であったためであることが判明したが、残りの現金不足額の原因は不明である。
2. 商品 ¥ 150,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 120,000 については、仕入先を名宛人とする約束手形を振り出して支払い、残額は掛けとした。
3. 前期に貸倒れとして処理した売掛金 ¥ 100,000 のうち、¥ 80,000 が回収され、当座預金の口座に振り込まれた。なお、貸倒引当金勘定の残高は ¥ 60,000 である。
4. 給料日に、従業員に対する給料から所得税の源泉徴収額 ¥ 30,000 を差し引き、手取り金 ¥ 170,000 を当座預金の口座から振り替えて従業員に支払った。
5. 水道光熱費 ¥ 60,000 と事業主の所得税 ¥ 240,000 を当座預金の口座から振り替えて支払った。なお、水道光熱費のうち ¥ 20,000 は、事業主個人の家計が負担すべき金額である。